

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年8月17日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101813		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム すみれ	ユニット名	西館
所在地	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町3135-1		
自己評価作成日	平成22年1月16日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年3月30日	評価確定日	平成22年8月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>認知症であっても 家庭的な雰囲気の中で生活出来るよう 理湯者と寄り添う事を大事に心がけています。</p> <p>利用者の方と触れるコミュニケーションで共感し、職員で共有し、利用者の方の不安の軽減を図ると共に 職員自身も前向きな気持ちを持って支援しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は水戸市郊外の静かな自然に恵まれた場所に立地し、利用者は職員から温かい言葉かけや思いやりのある支援を受け、明るく穏やかに自立した暮らしを送っている。</p> <p>職員一人ひとりが温かいサービスを心がけ、全職員で協力して利用者の気持ちにそったサービスができるように努めている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	つくりあげている 理念を共有し基づいて意識し業務に取り組んでいる	地域密着型サービスを踏まえた事業所独自の理念を全職員で作成し掲示するとともに、毎朝のミーティング時に全職員で唱和し共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	努めている 隣近所住民の方へ 訪問し 行事の案内を配布し 協力してもらっている (夏祭り 運動会 敬老会)	事業所主催の春と秋の運動会や夏祭り、敬老会の開催に、近隣住民に案内状を配り参加を呼びかけるとともに、行事運営の協力を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	努めている 行事にはホーム側に 訪問していただき 交流はされている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回実地しております 状況報告し そこで情報交換 サービス向上に活かしています 行事等にも参加していただいています	運営推進会議は、家族等代表や市職員、民生委員、地域代表、運営母体統括長、介護支援専門員、管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の運営状況や行事案内、外部評価の結果報告、町内のコミュニティ、最近の話題などについて話し合うとともに、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 委員には議事録や次回開催日、議題等を送付して効率的な会議ができるよう努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者(高齢福祉課 介護保険課生活福祉課)に相談 アドバイスを得るなど 連携をはかり 共同でサービス質の向上に取り組んでいる	高齢福祉課や介護保険課、生活福祉課など市担当部署と連携を図りながら疑問点などについて相談し、サービスの質の向上に取り組んでいるが、地域包括支援センターと連携を図るまでには至っていない。	事業所は、要支援2から利用が可能なので、地域包括支援センターと連携を図ることが望まれる。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいます	マニュアルを作成するとともに、外部研修に参加し、身体拘束をしないケアについて職員間で共通理解をしている。 ベッドから転落する危険性の高い利用者は、事故防止のため家族等の同意を得たうえでベッド柵を利用しているが、経過観察記録を作成するとともに、ベッド柵を使用しなくて済むよう定期的に検討している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めています 研修にも参加しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用できるように支援しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っています 文書・口頭で説明し 家族の方に了解を得ています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の要望等 電話や面会時に意見を聞いています	面会時や電話で家族等の要望や意見を聴くよう努めるとともに、出た意見等は職員で話し合い改善に努めている。	意見等を出し難い家族等に配慮して、年1回無記名のアンケートを実施するとともに出た意見等を公開し、サービスに反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日朝礼・ユニットでの申し送り等で 意見 提案を聞く機会を設けて反映させています	毎日の朝礼時やユニット申し送りに職員から意見等を聞いているが、発言する職員は固定しがちである。	職員から率直な意見を聞くため、職員ヒヤリングの機会を設けたり、年1回無記名の職員アンケートの実施を期待する。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が交替で研修に参加されその結果を報告書にまとめ 回覧し話し合い 共有されている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	取り組んでいる 月一度のグループホーム協議会に参加 職員の方も他グループホームに見学に行き 情報交換されている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相手の立場に立ち 同じ目線で話を聴いている 受け止める努力をしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応に努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者を介護される方の立場におかず お互いに寄り添い家事を手伝ってもらったり 好きなカラオケをしたりして共に 支えあう関係を築いています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の出来る役割を見つけ出して 趣味を活かして スタッフと一緒に畑を作ったり 草取り・洗濯畳等して ささえあう関係を築いています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めています 一部の方は電話がかかってくるたり 面会にも自由に来られています お部屋で お茶したりして 気分転換されています	職員は利用者の知人来訪時にお茶を出したり、一緒に話をするなど、関係が途切れないように支援している。 利用者は手紙や電話で馴染みの人と連絡し合っているほか、理美容室に家族等と出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立せず 自由にユニットを歩き 利用者同志関わりあっています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移り住む先の関係の方に対して 本人の状況 これまでのケアの情報等伝えている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者との日々の関わりの中で言葉・表情などから 思いや意向を把握するように努めている	職員は利用者から話を聴き、思いや意向の把握に努めるとともに、日誌に記録したりミーティングで話し合い全職員で共有している。 意思疎通が困難な利用者には、ケース記録や日々の行動、表情から思いや意向を汲み取り支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の方がホームの中でその人らしく生き生きと暮らしていけるよう適当な生活環境を整えて 生きる意欲と 出来る限り社会性をもって生活出来るよう努めている 経過等の把握に努めている	/		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者がどのような状態・状況なのか毎日 ユニットごとに情報・意見交換している 利用者の家族の方の表情や言動を 確認している			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族等から 要望を聞くと共に カンファレンスで話し合い 意見等を反映させた介護計画書を作成している			職員は利用者や家族等から面会時や電話等で意見や要望を聴いて記録し、介護支援専門員を中心に必要な関係者とサービス担当者会議を開催し、短期は3ヶ月毎に、長期は6ヶ月毎に見直している。 心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の特徴や変化をケース記録に記載しています 職員間で情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	2週間に一度のおやつの移動売店や美容師がくるほか 訪問診療 通院事業所の多機能性を活かした支援をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事ごとに 地域のボランティア 民生員の方に協力をいただいて 暮らしを楽しめるように支援しています 年二回消防の方にも協力いただいている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族等が希望するかかりつけ医に受診できる 協力病院から2週間に一度訪問診療があり 利用者の方が 適切な医療が受けられるように支援している	利用前からのかかりつけ医は家族等が付き添い受診している。 協力医療機関へは2週間に1回職員が付き添い受診しているほか、2週間に1回医師が訪問診療に訪れている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中で捉えた気づきなどで電話をかけ 相談し 受診や指示を受けています		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時に安心して治療できるように 病院関係者と情報交換し相談に努めている 症状が安定したとき 医師 看護師 家族と連絡し退院されています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の重度化や終末期の対応は医師 看護師 家族と相談をして決めている 医療行為が 必要な事では入院していただいている 契約時に説明している	利用契約時に重度化や看取りに関して、事業所としてできることやできないことを十分に説明し、同意を得ている。 協力医療機関など必要な関係者と連携するとともに重度化や看取りに関する同意書を作成している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今のところ 訓練は行っていません		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	飲料水や 乾パン等各ユニット用意してあります 年2回 避難訓練実地 近所の方へには働きかけています	年2回避難訓練を実施するとともに非常食や飲料水を準備し、近隣住民に働きかけ協力を得ているが、夜間を想定した訓練を行うまでには至っていない。	2回の避難訓練のうち1回は夜間を想定した訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切にし 言葉掛けや対応に配慮すると共に ケース記録等の個人情報も 適切に管理している	職員採用時に利用者の個人情報を漏らさないよう誓約書を交わし、利用者のプライバシー保護を徹底している。 利用者の個人ファイルなどの記録は、事務室の鍵のかかる書庫に保管し、情報漏洩に留意している。 職員は利用者一人ひとりのプライバシーを損ねないように、言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の方が 思いや希望を表せるように働きかけたり 自分で決めたり納得しながら 暮らせるように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は 利用者の希望を聴くと共に利用者のペースで自由に生活出来るよう 希望に添って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自由に選び 好きな衣服を着ていただいています 行事の時等は 女性の方全員に 化粧をしています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者は一緒に食事や後片付けをすると共に同じ食卓を囲み会話しながら食事を楽しんでいます	食事前に利用者全員で嚥下体操をして誤嚥防止に努めている。 職員は利用者の嗜好を把握し、ミキサー食など利用者の状態に応じた食事を提供するとともに、和やかな雰囲気の中で楽しく会話しながら一緒に食事をしている。 利用者は一人ひとりの力量に応じて下膳やテーブル拭き、後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は一人ひとりの食事と水分の摂取量を記録し共有すると共に一人ひとりの状態に応じた調理盛り付けに配慮し食事の支援をしています		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしています 出来ない入居者には全介助しています		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄パターンを活かしてさり気ない誘導声掛けなどの介助支援しています	利用者毎の記録から排泄パターンを把握してトイレ誘導している。 排便チェック表は作成しているが、排尿チェック表は作成していない。	排便の記録だけでなく排尿もチェックし記録することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分を取り 規則正しく食事できる様支援している（繊維を含む食事） 適度な運動が出来る また トイレでの自然排便を促す		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は 週2回 午前中 其の日 入浴出来なかった方は 他のユニットで入浴できる様 支援している 今後は 希望を取り入れたい	週2回の入浴が原則であるが、他ユニットでも入浴が可能であり、利用者の希望に応じて支援している。入浴日以外は清拭をしたり、冬場の冷える日には足浴を実施するなど、季節や利用者の状態に応じて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不眠の状況・原因となる物を追求し安眠できるよう支援している 生活の過ごし方に工夫し不安・ストレスが出来ないように 精神面へのサポートしていく		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの内服については把握している 一覧にまとめる 変更になった時も ユニットでわかる様に 確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	声掛け 見守りする中 雑巾をセッティングして 転倒に注意しながら洗面台・タンスの上の拭き掃除等されている ユニット合同で 時々カラオケ大会をする等 楽しみ 気分転換されている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の(一部の方)要望によって 家族と話し合い 出かけられるよう支援しています (食事会・墓参りなど)	利用者は天気の良い日に散歩で近くの農家に立ち寄り、飼育動物と触れ合ったり、家族等と一緒に食事や墓参りなどに出かけている。 外来受診時に職員が通院を兼ねて外出支援をしている。 利用者が日常的な外出をするための計画作成や、社会資源を利用するまでには至っていない。	利用者や家族等の意見等を聞き、年間計画を立てたり、市の福祉バスを利用して市内の公共施設を訪問するなど、社会資源の活用を期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理方法は家族と話し合い決めています ホーム側で預かっている方は 月2回の移動売店で買い物をする際に スタッフと一緒に付き添い使えるように支援しています 自分で所持できる利用者の方は一部です		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援しています 家族との定期的な電話 家族・友人からの手紙のやり取り プライバシーに配慮しながら 個別に支援しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームではどの部屋も 外からの光を自然に取り入れています 季節の花を ホームの外 居室ホール トイレ度に飾るなど(スタッフ全員で) 入居者の方が 居心地よく過ごせるように工夫しています	利用者は歌やゲーム、趣味などで居間兼食堂に集い、食後も殆どの利用者が残って和やかに話をしている。 各ユニットの食堂からは中庭や周囲の景色が見渡せ、季節の移り変わりを感ずることができる。 浴室やトイレは車椅子の利用者が使いやすいように十分なスペースを確保しているほか、脱衣場にもトイレを設置するなど利用者のニーズに配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中庭 駐車場にベンチを設置して天気の良い日には 利用者同志で楽しく談話され コミュニケーションを取れるよう支援している 2・3人でテータイムをされるなど		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた 家具・生活用品(鏡・時計・食器など)を持ち込 安心して過ごせるよう支援しています	居室にはベッドや整理箆筒、洗面台が備え付けられているが、持ち込み品は自由となっており、利用者は使い慣れた馴染みの品を持ち込み居心地良く過ごしている。 利用者の作品や家族等の写真を飾り、好みに応じた居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今のところ 混乱はありません不安や失敗を招く事の無い様に 工夫しています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム すみれ

作成日 平成22年8月10日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	事業所は、要支援2から利用が可能なので、地域包括センターと連携を図ることが望ましい。	現在は包括センターと連携をとっている。	現在当事業所は、要支援2の入居者がいない為 今後出た場会いは即座に対応する。	
2	13	2回の避難訓練のうち1回は夜間を想定した訓練を実地することを期待する	現在は実地しています	最近では 3月25日 4月19日と 2回夜間を想定した訓練を実地しています。	
3	16	排便の記録だけでなく排尿もチェックし記録することを期待する	現在は実地しています	4月1日より実地しています	
4	18	利用者や家族等の意見等を聞き年間計画を立てたり、市の福祉バスを利用し市内の公共施設を訪問するなど社会資源の活用	現在は実地しています	市の福祉バスを利用し市内の公共施設を訪問を6月9日実地しています。	
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。